

「日本化粧品検定 準2級・3級対策テキスト コスメの教科書 第3版（2025年3月20日 第2刷）」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P97 <コンシーラーの選び方とつけ方の基本>

誤) シミやニキビなどしっかりカバーしたい部分にピンポイントでのせ、ひとまわり大きく薬指やブラシでまわりをトントンとたたくようになじませます

↓

正) シミなどしっかりカバーしたい部分にのせ、薬指やブラシでまわりをトントンとたたくようになじませます

基本的なつけ方

正) シミなど

シミやニキビなど

しっかりカバーしたい部分にピンポイントでのせ、ひとまわり

大きく

薬指やブラシでまわりをトントンとたたくようになじませます

正) のせ、



[正誤表]

・P111 ボディの皮膚とは？

誤) 皮脂腺が少ない胸・足などは

↓

正) 皮脂腺が少ない腕・脚などは

ボディの皮膚とは？



身体は部位によって角層の厚さや皮脂の分泌量が違うため、乾燥やニキビなどの肌悩みも部位によって異なります。それぞれの部位に適したケアを行うことが、ボディケアの基本です。皮脂腺が多いボディの中心部などは丁寧に洗い、皮脂腺が少ない胸・足などは保湿ケアをしっかりと行う、ひじやひざ、かかとなどの角

正) 腕・脚

「日本化粧品検定 準2級・3級対策テキスト コスメの教科書 第3版（2025年3月20日 第2刷）」に変更点がございました。

下記の通り変更させていただきます。

[変更点]

・P59 <間違いがちなデンタルケア>

変更前) フッ化物濃度が高い（1450ppm以上*）歯みがき剤を使いましょう。

↓

変更後) フッ化物濃度が高い（**1450～1500ppm***）歯みがき剤を使いましょう。



フッ化物のむし歯予防（再石灰化）効果を高めるためには、配合されているフッ化物濃度が高い（**1450ppm以上***）歯みがき剤を使いましょう。

*6才未満は1000ppm以下

変更) 1450～1500ppm*

[変更点]

・P106 <マスカラの基本のつけ方>

変更前) 1 余分な液をしごく
マスカラの余分な液を、ボトルの口でしごきます。（図）

↓

変更後) 1 余分な液を**落とす**
マスカラの余分な液を、**ティッシュでオフ**します。（図）

1 余分な液を**しごく** **変更) 落とす**



変更)

マスカラの余分な液を、**ボトルの口でしごきます。** **変更) ティッシュでオフ**します。